

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年7月22日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年7月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機タービン補機冷却系熱交換器(A)の淡水側弁のシート漏えいについて】 6号機タービン補機冷却系熱交換器(A)の点検のため、当該熱交換器の淡水側入口弁および淡水側出口弁を全閉し、熱交換器内の水抜き作業を行った際、微量な排水の継続を確認。 淡水側入口弁または淡水側出口弁にシート漏えい※があるものと推定。 なお、当該弁は熱交換器点検時に系統から隔離することが目的であり、シート漏えいがある場合には、入口弁下流側および出口弁上流側に閉止板を取り付け、漏えいを防止している。 また、当該弁は、常時開いた状態での運用であり、系統の運転に影響なし。 ※シート漏えい: 弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。</p>	GⅢ	7月16日
2	<p>【6号機タービン補機冷却系熱交換器(A)の海水側弁のシート漏えいについて】 6号機タービン補機冷却系熱交換器(A)の点検のため、当該熱交換器の海水側入口弁および海水側出口弁を全閉し、熱交換器内の水抜き作業を行った際、微量な排水の継続を確認。 海水側入口弁または海水側出口弁にシート漏えい※があるものと推定。 なお、当該弁は熱交換器点検時に系統から隔離することが目的であり、シート漏えいがある場合には、入口弁下流側および出口弁上流側に閉止板を取り付け、漏えいを防止している。 また、当該弁は常時開いた状態での運用であり、系統の運転に影響なし。 ※シート漏えい: 弁内部の隙間から配管内部に漏えいすること。</p>	GⅢ	7月16日